



COVER PHOTO

東京芸術劇場
アトリウム 吹き抜け空間



芸劇 BUZZ vol.28

2019年7・8・9月号

【編集・発行】東京芸術劇場(公益財団法人東京芸術文化財団) 【編集・デザイン】COM Works 【印刷】(株)技芸堂

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.28 2019
7.8.9.

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス
(チケット・総合案内カウンター)
予約 | **0570-010-296**
お問合せ | (休館日を除く10:00~19:00)

5F 託児サービス
東京芸術劇場で公演ご鑑賞のお客様のお子様をお預かりします。(要予約)
HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた
お問合せ | **0120-415-306**
(平日9:00~17:00)

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場
| 利用料金 | 300円/30分
| 営業時間 | 7:00~24:00
| お問合せ | **03-6914-0019**



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
| 開館時間 | 9:00~22:00 (休館日も除く)
| お問合せ | **03-5391-2111**
JR.東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、池袋駅地下通道の2b出口に直結しています。

〈東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。

| | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|-------------------|
| アサヒグループホールディングス株式会社 | JXTGホールディングス株式会社 | 日本生命保険相互会社 | 養老乃瀧株式会社 |
| 住友生命保険相互会社 | 株式会社資生堂 | 日本電信電話株式会社 | 読売新聞東京本社 |
| Bloomberg L.P. | 西武鉄道株式会社 | びあ株式会社 | 立教大学 |
| キッコーマン株式会社 | ソニー銀行株式会社 | 東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅 | 株式会社ルミネ 池袋店 |
| 住友化学株式会社 | 第一生命保険株式会社 | 株式会社フジテレビジョン | レンゴー株式会社 |
| | 株式会社竹中工務店 | HOTEL URBAN(ホテルアーバン) | 株式会社ローソンエンタテインメント |
| アサヒグループ食品株式会社 | 多摩美術大学 | ホテルメトロポリタン | 株式会社WOWOW |
| 株式会社イープラス | 株式会社帝国ホテル | 株式会社松尾楽器商会 | 渡邊建設株式会社 |
| ANAホールディングス株式会社 | 株式会社テレビ朝日 | 株式会社松村電機製作所 | |
| オルガノ株式会社 | 株式会社テレ・ポーズ | 丸茂電機株式会社 | |
| 香山壽夫建築研究所 | デンカ株式会社 | 三井金属商事株式会社 | |
| 国際興業株式会社 | 東京臨海熱供給株式会社 | 三菱地所株式会社 | |
| 株式会社サンシャインシティ | 東武鉄道株式会社 | 三菱重工業株式会社 | |
| 三精テクノロジーズ株式会社 | 株式会社東武百貨店 | 株式会社三菱UFJ銀行 | |
| サントリーホールディングス株式会社 | 凸版印刷三幸会 | ミュージックスタジオ・フォルテ | |
| 株式会社ジェイアール東日本ビルディング | トヨタ自動車株式会社 | ヤマハサウンドシステム株式会社 | |
| | 西池袋熱供給株式会社 | 有限会社ユーシーベンディング商会 | |

他 匿名5法人
2019年6月25日現在

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。事業調整係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2116



INTERVIEW

東京芸術劇場 野田秀樹
芸術監督

特集・PICKUP

ボンクリ・フェス2019

東京芸術劇場コンサートオペラ vol.7
ドビュッシー／『放蕩息子』&
ビゼー／歌劇『ジャミレ』

オルガン講座 第78回 夏休み・特別編-
芸劇のオルガンをたっぷり楽しもう

NEO-SYMPHONIC
JAZZ at 芸劇

TOKYO MET SaLaD
MUSIC FESTIVAL 2019
サラダ音楽祭

ブラスウィーク2019 ほか

作・演出：藤田貴大
「めにみえない みみにしたい」

芸劇dance イデピアン・クルー
「幻想振動」 ほか

デューダ・バイヴァ
「BLIND」

レッドトーチ・シアター
「三人姉妹」
演出：トーマス・オスターマイアー
「暴力の歴史」

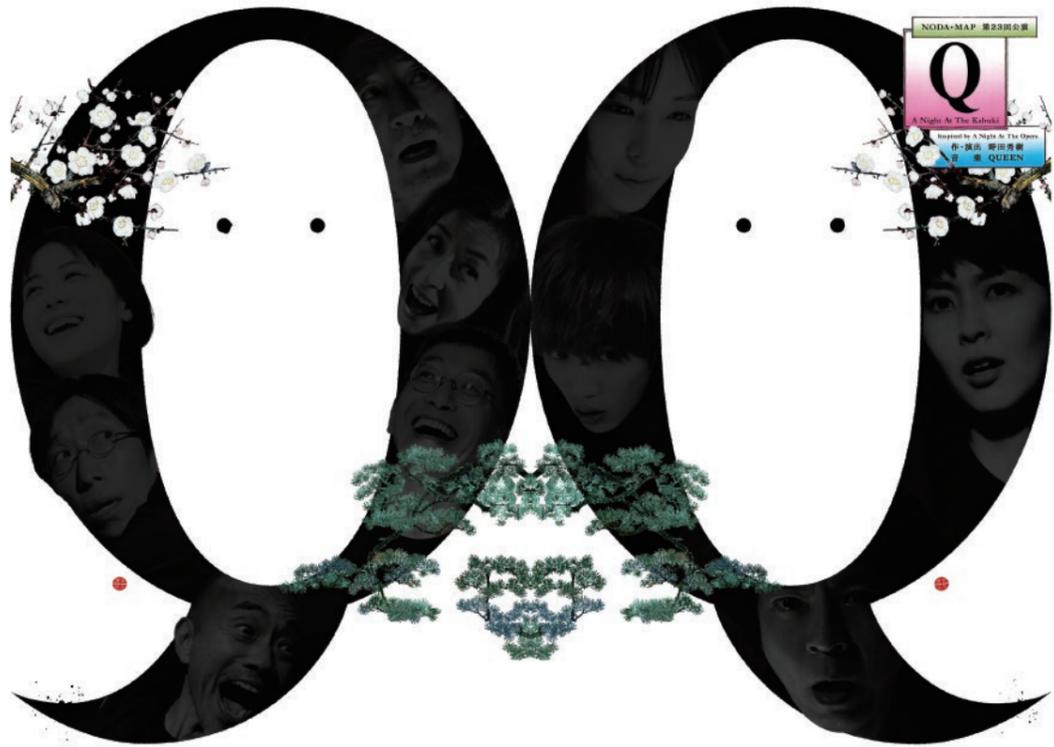
CALENDAR

7月・8月・9月

劇場ツアー
「東京芸術劇場のトリセツ」 ほか

アーツアカデミー公開ゼミ
コンサートホールの音響

令和元年7月1日発行



インタビュー

東京芸術劇場
芸術監督 **野田秀樹**



「書くのが楽しい」新作は、 いにしえ 古の日本のQ&S

開幕前はキャストに驚き、幕が開くとその内容に衝撃が広がる。

それが従来のNODA・MAPならば、次回作はさらに大きな驚きが!! 新作『Q』に込められた企みとは?

「やってやるぞ」と奮い立ったオファー

1999年、同一戯曲を同時期に野田秀樹と競作した蜷川幸雄は、その理由について「近頃は演劇がニュースに取り上げられることが少ない」と言った。そこには、演劇が幅広い層の関心を呼ぶことを意識していなければという開かれた姿勢と、演劇とは本来、事件性のあるものだというこだわりがあったのだと思う。実際、合同で開かれたその会見には大変な数のメディアが詰めかけたのだが、氏がもしまだ存命で、NODA・MAP 2年半ぶりの新作『Q』

の詳細を知ったら、大いに悔しがったのではないかな。

なんと『Q』は、映画『ボヘミアン・ラブソディ』が世界的にヒットしたイギリスのロックバンド、クイーンの代表的なアルバム『オペラ座の夜』を舞台化してほしいというクイーン・サイドのオファーが野田に届いてスタートしたのだ。

「なにより『ボヘミアン・ラブソディ』そのものが、若い時に出会った“なんだコレ!”という衝撃的な曲でしたから、クイーン側からの話を聞いた時は、あまり前例のないことなので、先方がどこまで本気なのかという勘ぐり(笑)と、果たしてどういふうにやればいいのかという手探り感と、やって

やるぞという挑戦の気持ちが一度に湧き上がりました」

実は、クイーン・サイドは何年も前から『オペラ座の夜』の全曲を使用したなにながしかの舞台の企画を練っていた。そして、自分たちをいち早く発見し、受け入れてくれた日本で、それが形になることを望んだという。

「まず、聴き込むのと同時に、歌詞を徹底的に読み込みました。全曲使用してほしいという条件を聞いて少しひるんだんですけど、改めて1曲ずつじっくりと聴いてみると、緩い風を運んでくるものもあれば、凛とした刀のような曲もあって、全部の色が違う。と同時に、全体としてひとつのドラマが浮かぶような感覚もあって、まさにシアトリカル。芝居にできないかというオファーの意味がわかりました。しかも謎が深い。たとえば、なぜ『ボヘミアン・ラブソディ』で、ガリレオの名前を連呼するのか。何の気にもとめず聞いていたものが、自分なりに解釈し調べていくと、不可解な部分を含め、追いかけていってほしいらかった。他の曲からもたくさんのインスピレーションをもらいましたね」

いつかやりたいと思っていたアイデア

そのインスピレーションと、野田がかねてから温めていたもうひとつのアイデアが結びついた。そのアイデアとは、シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』の後日譚。

「とりわけ『Love of my life』という曲を聴いた時に、ああ、これは一生をかけた愛についての歌で、いつか書きたいと思っていた『ロミジュリ』の後日譚の世界に繋がると思ったんです。僕は『ロミジュリ』は、これ以上ない悲恋のひとつの結晶だと思う。シェイクスピアの初期作品であり、具体的なせりふは彼だけども、原型とされる戯曲があるので、もともと“いじられた戯曲”だと思っているんです。イギリスでも“『リア王』をいじるのは許されなけれど『ロミジュリ』は大丈夫」という人は多いんですよ(笑)」

野田流後日譚の舞台に選ばれたのは、12世紀の日本。そしてそこにクイーン『オペラ座の夜』に収録されている12曲がちりばめられる――。

個性豊かで新鮮なキャスト陣

さて、『ロミオとジュリエット』の後日譚と書いたが、単純なそれではない。若かりし頃とその後、つまり2組のロミオとジュリエットが登場するのだ。若い頃のふたりを演じるのは、若手俳優の中でも抜きん出た演技力が高く評価されている志尊淳と広瀬すず。広瀬は、この作品が初舞台となる。そして、その後のロミオとジュリエットを演じるのは、野田が深く信頼する松たか子と、NODA・MAPに待望の初参加が実現する上川隆也。さらに、この4人を取り巻く俳優陣には、満を持してのNODA・MAP初参戦となる橋本さとし、竹中直人、伊勢佳世という実力、存在感ともに評価される面々が揃う。加えて『パイパー』以来、10年ぶりの出演となる怪優・小松和重や、『キル』や『TABOO』などNODA・MAPの初期作品を支え、今なお鮮やかな印象を残す羽野晶紀が21年ぶりに野田作品に復帰するのうれしい。

「これだけ初参加の人が多く座組は久々ですね。彼らとは、もう何度もワークショップを積み重ねてますが、みんなモチベーションが高くて、こちら

も知らずにハイになってます」

それもあるが、「今、書いていてとても楽しい。“仕事”という感覚にならないように書けることは理想です。ま、今のところの話です。産みの苦しみはこれからでしょう。待ってろよ!産みの苦しみてるところかな」と快活に言う。

「何しろ新作は『足跡姫』(17年1月)以来ですからね。クイーン・サイドからOKが出て、ずっと温めていた『ロミジュリ』後日譚が展開できることになって、自分としては早く書きたくて仕方なかったんです。でもその間に、『One Green Bottle』の海外ツアー、歌舞伎版と海外公演の『眞作 桜の森の満開の下』がありましたから、なかなか体も頭も容量が空かなくて」

その口ぶりからは『Q』に留まらない創作意欲が感じ取れる。野田よりも年下の劇作家でも新作に苦勞するのはザラなのに。

「でも僕も、少しずつ(新作を書く)間が空いてきていますよ。それは年齢のせいもあるし、年々余計なことで忙しくなっている。今年から「東京演劇道場」も始めちゃったし(笑)。若い時に“年取ってから良いもの書いたヤツなんていない”なんて暴言を吐いてたから、自業自得です。でも、ただ書けば良いものじゃないという思いはあって…慎重にやってはいます。井上ひさしさんという希望の巨星がいますしね。井上さんは最後まで(若い頃と)エネルギーの変わらないものを書き続けましたから。演出ではもちろん蜷川さんが希望の巨星です。とすれば、80歳ぐらいでもエネルギーに仕事ができるってことですよ。井上さんと蜷川さん両方のエネルギーって、どれだけ欲深いのかって話ですよ」

筆の乗りの良さを想像させる前向きな言葉が続いた。おそらく『Q』には、このインタビューには出さなかった企みがまだ潜んでいるに違いない。期待を募らせ、大作を待とう。

取材・文:徳永京子

野田秀樹 HIDEKI NODA

劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。92年に「劇団 夢の遊戯社」を解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来『キル』『赤鬼』『パンドラの箱』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『逆鱗』『足跡姫』『One Green Bottle』など話題作を次々と発表。モーツァルト歌劇『フィガロの結婚-庭師は見た!-』等、オペラの演出も手がけるほか、海外の俳優やスタッフとの共同制作による英国版『One Green Bottle』を東京、韓国、ロンドン、ルーマニアで上演し大きな反響を得る。演劇界の旗手として枠を超えた精神的な創作活動を行う。2015年よりブラジル、東北、東京、京都、などで、国内外の多種多様な表現者達と新たな幻想的な表現を創出する文化サーカス「東京キャラバン」を実施。2018年NODA・MAP第22回公演『眞作 桜の森の満開の下』を東京、大阪、北九州、パリで上演し大きな反響を得る。2019年4月より松竹シネマ歌舞伎『野田 桜の森の満開の下』を全国で上映。10月には、2年半ぶりとなる新作『Q:A Night At The Kabuki』を東京、大阪、北九州で上演予定。世界を駆け巡り、意欲的に活動を展開している。

NODA・MAP 第23回公演

「Q: A Night At The Kabuki」

Inspired by A Night At The Opera

作・演出:野田秀樹 音楽:QUEEN

10月8日(火)~15日(火) / 11月9日(土)~12月11日(水)
プレイハウス

ほか大阪、北九州 公演あり

出演:松たか子 上川隆也 広瀬すず 志尊淳

橋本さとし 小松和重 伊勢佳世 羽野晶紀 野田秀樹 竹中直人

チケット発売:9月7日(土) 【詳細はHPへ】 www.nodamap.com/



松たか子



上川隆也



広瀬すず



志尊淳



橋本さとし



小松和重



伊勢佳世



羽野晶紀



野田秀樹



竹中直人



ボンクリ・フェス2019 “Born Creative” Festival 2019

アーティストック・ディレクター：藤倉大(作曲家)

今年も開催! 世界中の「新しい音」が 聴ける1dayフェス!

注目を集める現代作曲家・藤倉大をアーティストック・ディレクターに迎え、
今年で3回目の開催となる新時代の音楽フェスティバル!



藤倉大 ©Seiji Okumiya

“Born Creative Festival” 通称『ボンクリ』が近づいてきた。略称じゃなく通称? そう、もう三回目ともなれば日本中どこでも『ボンクリ』の名称



アドリウムコンサート(福川伸陽)「ボンクリ・フェス2017」より ©2 FaithCompany

で通っているのが通称に格上げされたのである。で、いつから? そう言えば一回目からだった。二年前に始まったフェスティバルだが、開催準備中の会議に出席していた藤倉大と関係者が当たり前の

ように「ボンクリ、ボンクリ」と呼び交わしているのを聞いて「おそらく英語なんだろう」「可愛い語感だからきっと新製品のスイーツ?でもコンサートの打ち合わせだから」とひとり取り残され感全開の思いをしたものだった。それが「人は生まれつきクリエイティブである」という藤倉が掲げたくわめて前向きかつ全方位的な素晴らしいコンセプトの意味と知り、会議中であるので、皆に見えないように一人膝を打って得心したのを昨日のこのように鮮明に覚えている。その上、そのプログラムの中の主要な曲目の演奏を我が誇り高き手兵“アンサンブル・ノマド”に任せて頂けるとあって、興奮の目盛りはいやが上にもあがる一方であった。

ボンクリ・フェス2019 “Born Creative” Festival 2019 9月28日(土) アーティストック・ディレクター：藤倉大
デイトタイム・プログラム 11:00~18:00 館内各所

詳細はHPへ

□誰でも楽しめる!

無料プログラム

- ◆アトリウム・コンサート
出演：東野珠実(笙) ほか
- ◆「電子音楽の部屋」
監修：檜垣智也



東野珠実 Photo by Kayoko Asai 檜垣智也 ©Reiko Kawasaki

□スペシャル・コンサートのチケットで楽しめる! ワークショップ・コンサート

※要スペシャル・コンサートの半券、事前申込制。

- ◆「ノマドの部屋」 演奏：アンサンブル・ノマド
- ◆「ブノットの部屋」 演奏：ヤン・バング エリック・オノレ アイヴィン・オールセット ニルス・ペッター・モルヴェル
- ◆「箏の部屋」 演奏：八木美知依
- ◆「電子音楽工作の部屋」 講師：ジルベール・ノウノ(ボンビドゥー・センター<イルカム>研究員)
- ◆「トーンマイスター石丸の部屋」 講師：トーンマイスター石丸



アンサンブル・ノマド ©Maki Takagi ヤン・バング Photo Natalia Kutsopova エリック・オノレ ©Hikaru ー アイヴィン・オールセット photo_PeterottoByevik ニルス・ペッター・モルヴェル ジルベール・ノウノ

「人は生まれつきクリエイティブである」と藤倉が指している“人”とは勿論世の中のすべての人の意味であるとは言うまでもないのだが、特にコンサートにおいてはそこに集うすべての人間を指す。作品の作者である作曲家は勿論、演奏家、スタッフは当然のことだが、絶対に欠かせないのが聴衆であるあなた自身である、と言っているのである。聴衆を前提としないコンサートなど存在しないだけでなく、聴衆によって音楽が完結するからだ。いくら作曲家が楽譜を完成させても演奏されなければ音楽とは言えず、いくら演奏家が確信をもって演奏しても聴かれなければ音楽とはならない。何故なら聴かれるためにあるのが音楽だから。その音楽も一つの聴き方しか許さないのであればわざわざ演奏する必要も聴きに来る必要もなく、聴衆の積極的な創造性によって多くのファンタジーが生まれ、はじめてかけがえの無い音楽となる。クラシック音楽の本質が本質的に作曲家、演奏家、聴衆による《三人婚》であり、その三者全員に果たすべき役割がある、と言ったのはポール・グリフィス(『文化のなかの西洋音楽史』音楽之友社)であったが、『ボンクリ』では有能なスタッフ達の存在がこのフェスティバルの個性を支えていることを忘れてはならない。昨年のスペシャル・コンサートで演奏したアルヴィン・ルシエ「Sizzles」という曲は、客席から仰ぎ見る、ステージ中央の高みに聖域のごとく聳える、東京芸術劇場のシンボルに等しい巨大なパイプオルガンの重低音を鳴らし、ステージ上に並んだ大小の太鼓の上に撒かれた何種類もの豆類や生米などを震わせるという作品を演奏した。まず専門のオルガン奏者以外オルガンに触れることは勿論のこと、聖域にひとしい演奏台に立ち入ることなど許されないはずだが、この時は“アンサンブル・ノマド”のピアニスト中川賢一がオルガンを演奏した。直前までのスタッフ全員の涙ぐましい努力の結果、当日晴れて、ステージ上に配置された楽器上の豆類や生米が、まるで命が吹き込まれたかのようにひとりでに震え始めたのだ。『ボンクリ』は本番前にすでに始まっていることを如実にあらわすエピソードのひとつである。

ところで、『ボンクリ』ではどんな音楽が演奏され聴けるのだろうか? 全体のラインナップがアーティストック・ディレクター藤倉大によって選ばれるのだが、チラシには“世界中の「新しい音」が聴ける”と謳っているように、名付けることが出来ないほどに新鮮この上ない旬の音楽である。予備知識の必要のない開かれたジャンルと言い換えることもできる。音楽は作品であると同時に先ず音であり、過去の作曲家も音そのものの面白さの追求が原点となってきたはず。ドビュッシーが初めて四度の和音を鳴らした時、いったいどれ程驚いたことだろう! そのような音楽の創造の現場に遠慮なく立ち会えるのが『ボンクリ』である。人を動かす動機としてもっとも強いのは驚くことではないだろうか。たくさん驚きに来てほしい。

スペシャル・コンサート 14:00開演 コンサートホール

詳細はP18へ

出演：アンサンブル・ノマド(指揮：佐藤紀雄) 福川伸陽(ホルン) 八木美知依(箏) 本條秀慈郎(三味線) ヤン・バング(エレクトロニクス) エリック・オノレ(エレクトロニクス) アイヴィン・オールセット(ギター) ニルス・ペッター・モルヴェル(トランペット) 大友良英 萩原麻未(ピアノ) 藤倉大(エレクトロニクス) サウンドデザイン：永見竜生[Nagie]
曲目：モートン・フェルドマン/サムシング・ワイルド・イン・ザ・シティマリー・アンのテーマ(ホルン、チェレスタ、弦楽四重奏のための) “Morton Feldman Collection, Paul Sacher Foundation, Basel”

挟間美帆 / 颯
八木美知依 / 通り過ぎた道
「通り過ぎた道」PUNKTライブ・リミックス
テリー・ライリー / In C
坂本龍一 / honj I~III (日本初演)
大友良英 / 新作(世界初演)
藤倉大 / 春と修羅(映画「蜂蜜と遠雷」より)
藤倉大 / ホルン協奏曲第2番(アンサンブル全編版世界初演)



佐藤紀雄 ©Akitoishi Higashi 福川伸陽 Photo by Absane Laure 八木美知依 Photo by Absane Laure 本條秀慈郎 ©石野真 大友良英 ©石野真 萩原麻未 ©Marco Borggreve

大人ボンクリ 19:00開演 コンサートホール

入退場自由。参加アーティスト選曲による“出演者なしの電子音楽コンサート”。
※スペシャル・コンサートのチケット半券で入場可。

ボンクリ・フェス2019 特設サイト
borncreativefestival.com



電子音楽の部屋 トーンマイスター石丸の部屋 ©Hikaru



ノマドの部屋(アンサンブル・ノマド)「ボンクリ・フェス2018」より ©Hikaru

『ボンクリ』の大きな特徴の一つは一日限りのフェスティバルということ。今年のプログラムもメインとなるスペシャル・コンサート、小さな部屋で行う様々なプログラム、公共スペースで行うコンサートなど、全部で9つのプログラムを一日で聴ける、という大きな特徴があるが、近くからご来場の方は勿論のこと、遠方から訪れる人には涙がでるほど有り難いことではないだろうか。タイムスケジュールは綿密に組まれているため、体力次第では全てのプログラムを制覇することも可能。話は少しそれるが、工期が大幅に短縮され2026年に完成をみると言われているバルセロナのサグラダ・ファミリアは無数の大小の部屋に様々な鐘が設えられ、教会全体が大きなカリヨンとなって音楽を奏で、バルセロナの街をその音楽で満たす、と聞いたことがあるが、『ボンクリ』の日には、劇場前広場から見上げる東京芸術劇場が、音楽にあふれる音の大伽藍となって躍動しているように見える。この大きな劇場の中を、面白い音を巡って多くの人達が四方八方に移動している様子を想像したら、参加しないでいられる人などいないはず。

今年も見逃すことが出来ない企画のオンパレードで、例年のごとく、私はまた演奏者としてリハーサル、本番に参加するが、その合間を縫って出来るだけ多くの部屋を覗いてたくさん驚きたいと、今から意欲満々の構えである。

文：佐藤紀雄(指揮者・ギタリスト、アンサンブル・ノマド代表)



東京芸術劇場コンサートオペラ vol.7 ドビュッシー／『放蕩息子』& ビゼー／歌劇『ジャミレ』

*演奏会形式(日本語字幕付・原語上演)

新時代の到来を告げる、 二つの「明けの明星」

革新的な名作の前には

助走段階に等しい意欲作が存在する。

近代の作曲家ドビュッシーとビゼーの

「隠しおせぬ輝き」にこの秋は要注目だ!

来る10月、東京芸術劇場が誇る人気のシリーズ「コンサートオペラ」が、日本ではなかなか演奏機会のない舞台作品、ドビュッシーの《放蕩息子》とビゼーの《ジャミレ》を演奏会形式で上演する。この2作はともに、「音楽史の明けの明星」として、大作曲家たちの輝かしい未来をそれぞれ予見するもの。実演に接したなら、「やがて来る新時代」の勢いが確かに聴きとれることだろう。

紫水晶の輝きを持つ「聖書由来のカンタータ」

歌の世界において、印象派の巨人ドビュッシーといえば、歌劇《ペレアスとメリザンド》(1902)がプラチナの光沢を放っているが、楽壇の登竜門たるローマ賞で第1位を獲得したカンタータ《放蕩息子》(1884)も、聖者が好む紫水晶のように、清々しい燦めきを宿す注目作であり続けている。物語は、古代の中東を舞台に、出奔した息子アザエルの帰りを待つ母リアと父シメオンの心模様を描き、最後には親子三人が再会して喜びあうというもの。コンクールの課題曲なので20分ほどの小品だが、そよ風のように柔らかな管弦楽が砂漠の果てしない地平線を思わせて、想像以上に広がりのある一作になっている。

本作の聴きどころとしてまず挙げたいのは、始まってすぐのリアのアリア〈来る年も来る年もむなしく〉。息子の帰還を信じる母親が悲痛な胸の内を吐露する一曲だけに、ドビュッシーの音作りではメロディが最もはつきりしており、コンサートで歌われることも多い名旋律である。

さて、10月のステージでこの母親役を歌うのは、これまで娘役のイメージが強かった国際派ソプラノ、浜田理恵。「でも、フランスではもう歌っているんですよ!」と温かい声音で話す彼女は、名指揮者ミシェル・プラッソンのもとでこの役を既に2度務めているとのこと。「おかげさまでディクシオン(発語法)の大切さ



2017年度 コンサートオペラvol.5 ビゼー／歌劇『真珠と貝』 ©Hikaru, Inc.

が身に付きました」と控えめな口調で語っていたが、今回指揮台に立つ佐藤正浩も、同じくブラッソンの薫陶を長年受ける気鋭のマエストロである。彼の手兵のオーケストラ、ザ・オペラ・バンドも、新しいコンサートマスターを迎えていっそう充実した演奏を聴かせるはず。実力派の歌声と共に大いに期待してみたい。

想像力が生み出したオリエンタルな音の画像

続いては、異国情緒の第一人者ビゼーについて。スペインを舞台とする傑作《カルメン》(1875)は、今や世界一有名なオペラとして人口に膾炙しているが、その直前に作られた《ジャミレ》(1872)は、エジプトの移り気な王子アルーンに恋した女奴隷ジャミレが、相手にひたすら尽くし愛を捧げることで、男心を見事に射止めてしまうという喜劇調の一作。王子の従者スプレンドリアーノが狂言回しを務め、合唱団と共に舞台をにぎわせる。

今回ジャミレを歌うのは、オペラ界の第一線で活躍するメソソプラノ、鳥木弥生。深い響きの声音を有し、宝塚の男役を思わせるきりとした容貌の持ち主だが、実は彼女もこのジャミレの役を既に演じているとのこと。「フランスの歌唱指導の第一人者、ジャンニヌ・レイス先生に教わって、クレルモン＝フェランで舞台に立ちました。ジャミレって、解放してあげると言われたのに、逆に『貴男の奴隷でいたいよ』と言って愛の勝利を得る女性でしょう。なかなかそんな人いないと思いますが(笑)、歌うのも2度目ですから、心理描写をより深めたいですね!」とはきはきと語っていた。

《ジャミレ》といえば、《カルメン》をも上回る「エキゾチックな音の画像」が満載のオペラである。すっ呆けた味わいの序曲から蠱惑的で涼やかな女声合唱へと続く冒頭部、躍動感に満ちる中間部の男声コーラスなど、まさしく絶品と思う。この機を逃さず、ビゼーのイメージーション豊かな旋律美にたっぷり浸ってみてほしい。

文:岸純信(オペラ研究者)

10月26日(土) 14:00開演 コンサートホール 詳細はHPへ
指揮:佐藤正浩 管弦楽:ザ・オペラ・バンド コーラス:国立音楽大学合唱団

■ドビュッシー／『放蕩息子』
リア:浜田理恵
シメオン:ヴィタリ・ユシュマノフ
アザエル:宮里直樹



■ビゼー／歌劇『ジャミレ』
ジャミレ:鳥木弥生
アルーン:樋口達哉
スプレンドリアーノ:岡昭宏



東京芸術劇場オルガン講座 第78回 夏休み・特別編- 芸劇のオルガンを たっぷり楽しもう!

夏休みは親子で楽しむ パイプオルガン

東京芸術劇場コンサートホールには、世界に誇る素晴らしいパイプオルガンがあります。夏休みは親子でたっぷりオルガンの響きを味わい、そして楽器について楽しく学びましょう!「パイプオルガン講座 2019 夏休み・特別編」は、親子で参加できる豪華なオルガンコンサートと、こうさくコーナーの2本立て! -コンサート-は3歳以上から入場でき、-こうさく-は小学校4年生以上が対象です。

オルガン演奏前の「プレ・コンサート」には、芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミーの金管五重奏が登場。トランペットやホルンなどの楽器紹介もあるのでぜひご注目を。

今年のオルガンの演奏者は、山口綾規さん。J.S.バッハの名曲「主よ、人の望みの喜びよ」や、オルガンと金管五重奏による迫力のサウンドでジグー作

8月1日(木) 13:00開演 コンサートホール -コンサート- 親子で楽しめるパイプオルガン・コンサート *プレ・コンサート 12:30~12:50 詳細はP15へ
14:00開講 コンサートホール -こうさく- 夏休み!紙工作で紙パイプを作ろう!



曲「大合唱の応答」もお楽しみいただけます。また当日は、ぜひ何か楽器を持ってきてください。リコーダーや鍵盤ハーモニカなど、身近な楽器でも大丈夫。みんなでミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』の「ドレミのうた」を合奏しましょう。楽器がなくても歌で元気に参加してくださいね。

-こうさく-では、オルガンのパイプのように、本当に音が鳴る紙パイプを作ります。夏休みの自由研究にもぴったり。作ってみると、楽器がどんな仕組みなのかよくわかります。手作りしたパイプを使って、ステージ上で小さなオルガンと一緒に演奏体験も。暑い夏の1日を、涼しいホール内のオルガンとともに楽しく過ごしましょう!

文:飯田有抄(クラシック音楽ファシリテーター)

NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇

構成・作編曲:挟間美帆

クラシックに 演奏されるべきジャズの 過去、現在、未来

もともとクラシックを学び、その後、ジャズへ向かいジャズ作曲家になった挟間美帆は、ジャズとクラシックの接点を探り続けてきた。今やその音楽は現代ジャズ・アンサンブルの枠にとどまらずジャンルを超えた彼女だけのオリジナルなものになり、近年はNYのジャズ・アンサンブルのキーパーソンとしてその評価も定着し、ヨーロッパの名門ビッグバンドからのオファーも絶えない彼女だが、その根底にはクラシックがある。

そんな彼女はこれまでのインタビューの中でクラウス・オガーマンに代表されるジャズと管弦楽の境界線上にいた作編曲家に幾度となく言及してきたが、その延長で「パーンスタインとガーシュウィンで終わりじゃなくてマリア・シュナイダーみたいな人の作品もクラシックの人たちに演奏されるようになって欲しい、されるべきだと思う」とも語ってきた。

挟間美帆はずっと前から、『NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇』のような機会を待っていたのだ。

その特別なステージのために挟間が選んだのがシャイ・マエストロ口だ。今やNYに欠かせない世界最高峰のピアニストとなり、名門ECMからリーダー作をリリースするシャイは、エレクトリックミュージックからクラシック、現代音楽、イスラエルの民族音楽まであらゆるものが溶け込んだジャズを弾きこなす。

ジャズと管弦楽の歴史をリスペクトしつつ、現在、そして、その先の未来を示すようなこの2人にしか表現できないステージになるはずだ。

文:柳楽光隆(ジャズ評論家)



8月30日(金) 19:00開演
コンサートホール 詳細はP16へ
*18:40より挟間美帆によるプレトークあり

構成・作編曲:挟間美帆
指揮:原田慶太楼
ピアノ:シャイ・マエストロ
管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団



トーキョー・メット・サラダ・ミュージック・フェスティバル2019

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2019 サラダ音楽祭



新企画にも注目のサラダ音楽祭

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化芸術イベントも盛り上がりを見せる中、今年も「サラダ音楽祭」がパワーアップして開催される。

2019年は日数・場所・プログラムを拡大!

「歌う! 聴く! 踊る!」=Sing and Listen and Dance!! (頭文字SaLaD=サラダ)をテーマとする「サラダ音楽祭」が、昨年について今年もバージョンアップして開催される。メインプログラムの期間は9月14、15、16日の3日間に拡大! 東京都交響楽団が登場するコンサートホールをメイン会場とし、今年にはシアターイースト、シアターウエストでも新企画がスタート。昨年大人気だった多彩なワークショップも、リハーサルルームなどで3日間とも開催される。さらに池袋のショッピングエリアや、多くの人が集う駅周辺のスポットもミニコンサート会場に様変わり! 都響メンバーによる室内楽や、新国立劇場合唱団メンバーによる声楽アンサンブル、芸術ウインド・オーケストラ・アカデミーメンバーによる楽しく本格的なパフォーマンスが街中で繰り広げられる。ワクワク、ドキドキ、だれもが音楽の楽しさを体で感じ、表現できる音楽祭なのだ。

多彩なコンサートやワークショップ

音楽祭のメインとなるオーケストラのコンサートは2種類。ひとつは「赤ちゃんOK! 歌ってOK! 踊ってOK!」とOKぶくしのコンサート「OK! オケストラ」だ。



0歳から参加できるこのコンサートでは、クラシックの名曲のほか、ディズニーやスタジオジブリの楽しい曲もプログラミング。指揮者体験で体を動かし、合唱コーナーで元気に声を出そう。赤ちゃんからご年配の方まで、

<メインプログラム>

- **OK! オケストラ 赤ちゃんOK! 歌ってOK! 踊ってOK!** 詳細はP17へ
9月14日(土) 11:00開演・15:00開演 コンサートホール
- **ベイビーオペラ「ムルメリ」** 詳細はP18へ
9月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝) シアターイースト
- **楽器体験や歌・ダンスのワークショップなど/会場周辺でのさまざまなミニコンサート** 詳細はHPへ

<サラダ・スペシャルコンサート>

- **ドラクエ・シンフォニックコンサート in SaLaD** 詳細はP17へ
9月19日(木) 19:00開演 コンサートホール

大野和士の指揮する都響の本格的なサウンドを体いっぱい感じてほしい。

もうひとつは、その名も「音楽祭メインコンサート」。今年はシェイクスピアの名作を題材にした劇的交響曲《ロメオとジュリエット》がメイン・メニュー。大編成のオーケストラと、バレエや歌で華やかに繰り広げられる迫力のパフォーマンスを、たっぷり楽しんでいただきたい。

コンサートホールでは、東京芸術劇場が世界に誇るパイプオルガンのコンサートも開催。この公演には、芸劇を拠点とし、視覚や聴覚にハンディキャップを抱えた子どもたちを中心メンバーとする「東京ホワイトハンドコーラス」も出演。生き生きとした音楽表現で日頃の成果を披露する。

シアターイーストでは、スイスのパーゼル歌劇場からやってくる「ベイビーオペラ「ムルメリ」」を上演。自然の音、人間の声、歌と動きを通じ、0歳から満2歳未満までの子どもたちが特別な音体験を味わう。

昨年、長蛇の列で大人気となったさまざまなワークショップ。今年も思い切り体を動かすダンスや、発声の基礎から学ぶ歌、憧れのオーケストラの楽器体験、自分だけのマイ楽器製作、子どものための作曲教室、AIを駆使した指揮体験でバーチャルな都響と共演できるステージなどなど、子どもも大人も夢中になってしまうコンテンツがそろそろ。

なお、3日間のメインプログラムの後も、「サラダ・スペシャルコンサート」と題して、9月19日には都響がゲーム音楽とコラボレーションする「ドラクエ・シンフォニックコンサート in SaLaD」を開催。作曲家すぎやまこういちが指揮者として登場する。10月27日には日比谷公園大音楽堂(日比谷野音)での無料コンサートも企画されている。

来たる2020年に向けて、文化芸術イベントもますます盛り上がりを見せている。東京が発信する音楽イベントを多くに楽しもう!

文: 飯田有紗(クラシック音楽ファシリテーター)

- **音楽祭メインコンサート《ロメオとジュリエット》** 詳細はP17へ
9月16日(月・祝) 14:00開演 コンサートホール
- **オルガンでLet's SaLaD!** 詳細はP17へ
9月15日(日) 14:00開演 コンサートホール

- **SaLaD野外コンサート(仮称)** 詳細はHPへ
10月27日(日) 日比谷公園大音楽堂

サラダ音楽祭公式サイト
salad-music-fes.com

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2019

9月29日(日)・10月5日(土)・31日(木) コンサートホール



秋は池袋で吹奏楽を楽しもう! プラスウィーク今年も開催!

国内外の吹奏楽団、ブラスバンドの演奏を続けて楽しめる、東京芸術劇場の秋の風物詩「プラスウィーク」。今年には日本トップレベルの演奏を誇るブラスウィーク常連楽団、東京吹奏楽団と東京佼成ウインドオーケストラに加え、イギリスの名門バンド、ブラック・ダイク・バンドが2年ぶりに登場する。それぞれの楽団の持ち味と、吹奏楽ならではの響きやアレンジを存分に堪能できるこの機会、どうぞお聴き逃しなく!

9月29日(日) 14:00開演 詳細はP18へ
東京吹奏楽団
第66回定期演奏会~Festival~
指揮: 小林恵子
曲目: ドビュッシー/「夜想曲」より 祭り ほか
【お問合せ】東京吹奏楽団 03-5937-5205

10月5日(土) 14:00開演 詳細はHPへ
東京佼成ウインドオーケストラ 第145回定期演奏会
指揮: 大井剛史
曲目: 高昌帥/吹奏楽のための協奏曲 ほか
【お問合せ】東京佼成ウインドオーケストラ
チケットサービス 0120-692-556

10月31日(木) 19:00開演 詳細はHPへ
ブラック・ダイク・バンド
指揮: ニコラス・チャイルズ
曲目: ピーター・グレイム/シャイン・アズ・ザ・ライト ほか
【お問合せ】ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

前橋汀子 秋のデイト・コンサートVol.7 ヴァイオリン パイプオルガンと弦楽アンサンブル

10月29日(火) 11:30開演 コンサートホール

詳細はHPへ



今年で7回目を迎える前橋汀子によるデイト・コンサート。毎年、誰もが知る名曲を前橋汀子一流のヴァイオリンで楽しめる、人気の公演だ。今年にはピアノや弦楽カルテット、パイプオルガンと共に、J.S.バッハやドビュッシー、ショパン、ドヴォルザーク、クライスラーといった作曲家たちの楽曲をお届けする。平日の昼間、ショッピング、ランチ、お待ち合わせの前に、気軽にヴァイオリンの名曲に耳を傾けるひとときをお楽しみいただきたい。

ヴァイオリン: 前橋汀子 ピアノ: 松本和将 シンセサイザー: 丸山貴幸
弦楽カルテット: 森下幸路、岡本伸一郎、小倉萌子、門脇大樹 パイプオルガン: 小林英之
曲目: J.S.バッハ/トッカータとフーガ ニ短調 ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」第2楽章 ほか
【お問合せ】カジモト・イープラス 0570-06-9960

ラファウ・ブレハッチ&アンドレイ・ボレイコ&ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団
日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ポーランド芸術祭2019 in Japan 参加公演

11月2日(土) 14:00開演 コンサートホール

詳細はHPへ



2005年ショパン・コンクール優勝後、確実にレパートリーを広げ続け、作品の深い本質に迫るブレハッチが2018年に続き、リサイタルとコンツェルト公演で全国ツアーを行う。コンツェルトのプログラムはショパン前半生のポーランド時代に書かれた最高傑作と言える第1番、第2番の2曲。共演はポーランドを代表する、ショパンの音楽を熟知するワルシャワ国立フィル。指揮は今シーズン音楽監督に就任するボレイコ。叙情あふれる名曲をブレハッチが紡ぎあげる一期一会のこの公演は聴き逃さない。

ピアノ: 拉ファウ・ブレハッチ 音楽&芸術監督・指揮: アンドレイ・ボレイコ 管弦楽: ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団
曲目: スタニスワフ・モニューシュコ/歌劇「パリア」序曲 ショパン/ピアノ協奏曲 第1番、第2番
【お問合せ】ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

フィラデルフィア管弦楽団

11月5日(火) 19:00開演 コンサートホール

詳細はHPへ



全米ビッグ5のひとつで屈指の名門、「華麗なるフィラデルフィア・サウンド」と称えられる唯一無二の豊富な響きをもつフィラデルフィア管弦楽団が、昨年あのMETのそれにも就任した天才音楽監督ネゼ=セガンとともに来日! ドヴォルザークが故郷を思っアメリカで書いた傑作交響曲「新世界から」と、晩年フィラデルフィアに住んでこの楽団と縁の深いラフマニノフの名作ピアノ協奏曲を披露する。オーケストラ演奏の醍醐味をたっぷり味わえる公演になるはずだ。

指揮: ヤニック・ネゼ=セガン ピアノ: ハオチェン・チャン 管弦楽: フィラデルフィア管弦楽団
曲目: ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番 八短調 op.18 ドヴォルザーク/交響曲第9番 小短調 op.95「新世界から」
【お問合せ】カジモト・イープラス 0570-06-9960

「めにみえない みみにしたい」

作・演出:藤田貴大

“めにみえない” 舞台に触れる

おんなのこは、飼い猫の

にゃあにゃあちゃんから聞いた夜の森へ――。

子どもから大人まで一緒に楽しめる藤田貴大の舞台が、東京芸術劇場に登場。



舞台『めにみえない みみにしたい』は、2018年に藤田貴大(マームとジブシー)がつくり上げた話題作。東京芸術劇場のプレイハウスも大胆に使いこなす気鋭が、子どもから大人まで一緒に楽しめる創作に初めて挑んだ作品だ。物語の軸は一人のおんなのこ。観劇後は、まるでこの少女と遠くまで冒険したような体感が残るだろう。

筆者が観たのは、昨春埼玉でのマチネ公演。劇場に入ると、アクティングエリアの目の前には人工芝が敷き詰められている。椅子席もあったが、開演を待つたくさんの子どもたちが自由に過ごす芝生スペースに心惹かれ、そちらに座ってみた。少し場内が暗くなり、白い衣装の出演者が「みなさん、こんにちわ。…けれども、いまは、夜です。なので、こんばんわ…」と語りかけると、騒々しかった空間が瞬時に夜の“どこか”に変容していく。夜の森、たくさんの動物たち、不思議な生き物、そして妖精。役者たちが多彩な登場人物を演じ分けていく仕掛けに、さっきまで走りまわっていた子どもたちも集中し、絵本を読んでもらうように自然とお話の中に誘われる。舞台に向かって思わず、「誰?」「なんで?」と問いかける場面も微笑ましい。まるで肌で物語を取り込むような瑞々しい感性の子どもたちと一緒にいると、こちらのピュアな感覚も呼び覚まされるようだ。

この世界は目にみえてるものだけでつくられているのだろうか?

マリンバの心踊る素朴なリズム、繊細なピアノの音、胸をぎゅっと掴む歌声、郷愁を誘うメロディー。『cocoon』(13年初演)以来の藤田作品参加となった原田郁子の心にまっすぐ届くような音楽は、このおとぎ話に優しく寄り添うよう。役者たちによる楽器演奏も楽しい。衣装は幾度も藤田とタッグを組んでき

たsuzuki takayuki。生地の柔らかい風合いを活かしたシンプルな洋服は、役者が動くときとふわりと揺れる。しゃぼん玉が飛び、大きな布が空中を舞うと新たな風景に変化していく。そこにじゃんけんやしりとりといったゲームの要素も加わり、子どもたちも時に声を出しながら飽きずに過ごせるので、まだじっと座ってられない年代でも、安心して“参加”できるだろう。

「今夜は、目を凝らし、耳を澄まし、小さな灯りをたよりに、森へでかけます」「たとえばここが、海の底だったら」「わたしたちは、いつのまにか、見渡しのよい、草原に立っていた。ここには、音がなかった…。ときどき吹く、おおきな風もない…」――想像力を刺激する台詞の数々に、“ごっこあそび”でイメージを膨らませ、どこまでも行けた子ども時代の思い出がよみがえる。観る者の想像力に委ね「見立て」で紡がれる手法は、観客、そして演劇への信頼にも感じられた。

劇中の「この世界は目にみえてるものだけでつくられているのだろうか?」という問いかけは、大人には沁みる言葉だろう。普段は気がつかない、われわれを取り巻く世界にひそむ美しさ。そこに織り込まれるのは、孤独といった現実だ。小さな人たちが母の温もりを離れた時、この日観た場面の一つひとつが、生きる背中を押してくれるかもしれない。

文:川添史子(演劇ライター)

8月31日(土)~9月1日(日) シアターイースト ほか全国13都市公演あり

作・演出:藤田貴大

音楽:原田郁子

衣装:suzuki takayuki

出演:伊野香織 川崎ゆり子 成田亜佑美 長谷川洋子



藤田貴大

関連企画 芸劇こどものアトリエ リハーサルルーム(B2F)

【地図のワークショップ】8月30日(金) 13:00~16:00

藤田貴大による小学生向けワークショップ

「今朝、最初に話した人は?」「会場までの道のりは?」藤田貴大がワークショップ参加者へインタビューをしながら、全員でそれぞれの風景を再現して行きます。最後には、再現されたシーンを藤田が構成し、みんなで小さな演劇作品を発表します。演劇未体験者大歓迎!

講師:藤田貴大 ほか 対象:小学生(保護者同伴可) 料金:500円 定員:15名(応募者多数の場合は抽選)

受付期間:6月15日(土)10:00~7月20日(土) 申込方法:東京芸術劇場HP お申込フォーム よりお申込みください。

【かんげきのおみやげ】8月31日(土)・9月1日(日) 各公演終了約30分後より開始 ※「めにみえない みみにしたい」ご観劇後にご参加いただくワークショップ
いま観たモノ、体験したコトは、自分の心に残る「おみやげ」。その「おみやげ」を、自分だけではなくみんなの「おみやげ」にしてみよう、というワークショップ。
一人ひとりが感じたこと、思ったことを、みんなでからだ全部使って味わい、共有し、もっとすてきな「おみやげ」をもって帰りましょう!

対象:4才~小学2年生まで(保護者同伴可) 時間:約80分 講師:櫻井拓見 たけうちみづゑ 宮野祥子

料金:500円 ※「かんげきのおみやげ」セット券 1,400円(公演とのセット券)

定員:各回15人 受付期間:6月15日(土)10:00より希望日時の前日まで。※定員数に達し次第、締め切る場合がございます。

申込方法:0570-010-296(東京芸術劇場ボックスオフィス)へ下記情報をご準備の上、お電話にてお申し込みください。

①参加されるお子様のお名前、年齢 ②保護者の方のお名前、ご連絡先(電話番号とメールアドレス) ③ご希望の公演日時

芸劇dance イデビアン・クルー「幻想振動」

7月26日(金)~28日(日) シアターイースト

詳細はP14へ



イデビアン・クルーが初のデュオ作品に挑む!

イデビアン・クルーが約2年ぶりに新作を発表。今回のメンバーは、カンパニーのコアメンバーの2人、井手茂太と斉藤美音子による初のデュオ作品となる。昨年上演された総勢16名のダンサーによるカンパニー代表作『排気口』から一転してミニマルな構成となり、新たな挑戦となりそうだ。2人のダンサーがひびのこづえの衣装をまとい、仕掛けに満ちた空間で展開される“幻想振動”とは? 独創的な世界観にも期待大。なお今回は舞台に共に出演して場面を盛り上げるエキストラ・クルーも募集する。イデビアン・クルーの世界に是非生身で巻き込まれてほしい。

振付・演出:井手茂太 衣装:ひびのこづえ

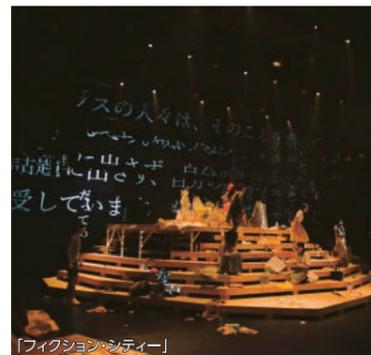
出演:斉藤美音子 井手茂太

【お問合せ】days 03-3464-5026

eyes plus 贅沢貧乏「ミクスチュア」

9月20日(金)~29日(日) シアターイースト

詳細はP18へ



「フィクション・シティー」

Photo:Kengo Kawatsura

注目の才能が鳴らず、柔らかで真摯な警鐘

2年前、芸劇eyesで上演した「フィクション・シティー」が、2018年の岸田國士戯曲賞最終ノミネートとなった山田由梨。昨年は中国公演を成功させたり、今年は小説の連載をスタートさせたりと活躍の範囲を飛躍的に広げている。彼女が率いる贅沢貧乏は、戯曲の言葉は柔らかく、美術セットや衣裳はポップでありながら、ジェンダーや非正規雇用など現代の社会問題を深く捉える。満を持して用意した新作は、カテゴライズして生まれる分断と、同類と判断して生まれる危うさを取り上げる。

文:徳永京子

作・演出:山田由梨 音楽:金光佑実 舞台美術:山本貴愛 衣装:小高真理(malamute)

出演:大竹このみ 田島ゆみか 青山祥子 小日向星一 中藤梨 細井じゅん 松澤傑 武井琴 浜田亜衣

【お問合せ】贅沢貧乏 050-5243-4685

劇団チョコレートケーキ「治天ノ君」

10月3日(木)~14日(月・祝) シアターイースト

詳細はHPへ



「治天ノ君」2016年公演

自由を何重にも禁じられたある男の物語

即位から間もなく、健康問題を理由に活動や意向がほとんど報じられなくなり、十数年の短い在位期間でひっそりと亡くなった大正天皇。歴代天皇の中でもきわめて謎が多いその半生を、皇后との交流を軸に大胆かつ繊細に描き、劇団チョコレートケーキの名を一気に広めた作品が、再々演にしてようやくシアターイーストで上演される。祝祭ムードの中で新元号がスタートした今、考えたい課題が詰まった1作だ。大正天皇役の西尾友樹、皇后役の松本紀保が続投するのうれしい。

文:徳永京子

作:古川健(劇団チョコレートケーキ) 演出:日澤雄介(劇団チョコレートケーキ)

出演:西尾友樹 浅井伸治 岡本篤(以上、劇団チョコレートケーキ) /

青木柳葉魚(タテヨコ企画) 菊池豪(Peachboys) 佐瀬弘幸 谷仲恵輔(JACROW) 吉田テツタ/松本紀保

【お問合せ】劇団チョコレートケーキ 080-9080-1861

COMING UP NEXT 2019.11-12

演劇・ダンス ラインナップ

11月21日(木)~24日(日) シアターイースト

eyes plus 鳥公園「終わりにする、一人と一人が丘」

12月13日(金)~15日(日) シアターイースト

「朗読東京」

11月29日(金)~12月11日(水) シアターイースト
三重県文化会館共催 原案:村田沙耶香、松井周 脚本・演出:松井周
inseparable「変半身(かわりみ)」

12月18日(水)~22日(日) シアターイースト
eyes plus
ワワフラミンゴ「12月のワワフラミンゴ(仮)」

※日程等に変更が出る場合がございます。

東京芸術祭2019 芸術オータムセレクション
「三人姉妹」 レッドトーチ・シアター
「BLIND」 デューダ・パイヴァ

目を懲らし、
 耳を澄ませて体感する

ヨーロッパをどよめかせている
 レッドトーチ・シアター(ロシア)の手話による
 「三人姉妹」と、失明体験に基づくダークな
 パペット・ファンタジー「BLIND」が初来日!

2016年5月のウィーン芸術週間(アヴィニョンやエディンバラと並ぶ歴史と規模を誇る国際芸術祭)で出会った「三人姉妹」は、あまりにも鮮烈だった。事前に知り得たのは、「シベリアの劇団による手話の「三人姉妹」という情報のみ。ろう者、あるいはろう者と健聴者が混在した俳優による、手話の舞台ということだろうか。経験則から、そんな想定をしながら席に着いた。

舞台では、耳の遠い老人役であるフェラポントが声を出して話す以外は、全員が手話で会話を交わしている。つまり、みな基本的に無声なのだが、イリーナが観るミュージック・ビデオや、マーシャが吹くホイッスル、アンドレイがかき鳴らすヴァイオリン、誰かがテーブルを叩く音、椅子を引く音、食器を重ねる音、時計の秒針や風の音などなど、舞台には過剰なまでに音が横溢していて、非常にかまびすしい。しかも、ドアと家具などの調度品のみが置かれ、壁を取り払った舞台装置のため、大ぜいの登場人物たちの所為が、丸ごと同時に視界に飛び込んでくる。視覚的にも聴覚的にも、膨大な情報量の「三人姉妹」だ。

なかでも目を見張るのが、第三幕。火事騒ぎの後のざわつく深夜、各自の気持ちが昂ぶる場面で、演出のティモフェイ・クリャピンは、突如屋敷の中を停電にしてしまう。漆黒の闇の中、各所でスマホ画面が点灯し、そこうごめく人々の身体や表情の一部が照らし出される。わずかな手元の明かり



「BLIND」 Photo: Patrick Argirakis

「BLIND」(ブラインド)
 10月17日(木)~20日(日)
 シアターイースト
 原案・振付・人形操演: デューダ・パイヴァ
 演出: ナンシー・ブラック

詳細はHPへ

「三人姉妹」
 10月18日(金)~20日(日) *上演時間約4時間(休憩3回)
 プレイハウス
 作: アントン・チャーホフ 演出: ティモフェイ・クリャピン
 出演: レッドトーチ・シアター

詳細はHPへ



「三人姉妹」 Photo: Frol Podlesny

を確保しながら、手話で激情を爆発させ、泣き叫ぶ姉妹たち……。

「暗闇の中のろう者」という虚を衝くような発想を、(たぶん)躊躇無く実行に移す演出家もただ者ではないし、圧倒的な集中力とリアリティで、事もなげにそのシチュエーションを演じきる俳優たちにも舌を巻く。そして、次第にわからなくなってくる。この俳優たちはろう者なのか。それとも、ろう者を演じているのか……。

突拍子もない仕掛けで観る者を煙に巻くティモフェイ・クリャピンの「三人姉妹」は、ウィーンで観客の度肝を抜き、ヨーロッパ中の評判となって、このたびついに、日本への初上陸が決まった。事の真偽を、ぜひ直接体感して確かめてほしい。

一方、ブラジル出身でオランダを拠点に活動するデューダ・パイヴァは、幼いころに一時的に視力を失ったことがあり、その体験をもとに「BLIND」(blind=盲目。気づかない、見る目がない、無軌道……と意味は広がる)という作品を創ったそうだ。

大きなランプシェードか、一人用テントのような白くこんもりした物体が、ロープにつながれ床に置かれている。客席で雑談していた男が立ち上がり、それに近づくと、こんもりした物体のてっぺんから、突然スキンヘッドの女性の上半身パペットが現れる。このこんもりは、スカートを丸く広げるために着用する腰枠付きペチコートだったのか。高らかに歌い出す女性は、その場にいる観客の目と耳を瞬のうちに惹き付けるディーバのよう。

妖艶でいて獣の猛猛さを併せ持つ彼女は、まもなく男の胸元がいびつに膨らんでいることに気づくと、迷わずそこを引き裂いてみせる。苦しむ男の体内からは、なんとエイリアンのような、もうひとりの人間が! 見れば男の身体は胸だけでなく、背中、膝、肩、腰と、そこかしこが、ゴツゴツと隆起している。ということは……。

ちょっと不気味で思索を促すような面持ちのパペットたちに、腹話術の要領で命を吹き込み対峙するデューダ・パイヴァ。マジカルなファンタジーであると同時に、人間の暗部を顕在化させたような、戦慄のパフォーマンスともいえる。五感を研ぎ澄ませて、その場に自分の身を置く必要がありそうだ。

文: 伊達なつめ(演劇ジャーナリスト)

東京芸術祭2019
「暴力の歴史」
 演出: トーマス・オスターマイアー

インタビュー トーマス・オスターマイアー

陶酔、痛み、そして社会にとけこめない悲しみ

今秋ベルリンの名門劇場シャウビューネによる
「暴力の歴史」が来日を果たす。

演出を担う芸術監督オスターマイアーは
「これこそ現代社会に必要な演劇」と語る。

32歳でシャウビューネ芸術監督に選ばれて以来、知性と美意識を備えた演出で勇名を馳せるオスターマイアー。作品はアヴィニョンやシビウなどの国際演劇祭にも招かれ、ヨーロッパのみならずアジアでも人気を博す※1。古典にも現代の問題を織り込み観客を触発する功績で、ヴェネチアビエンナーレ金獅子賞(2011)をはじめ多くの受賞に輝いた。戯曲解釈と視聴覚効果の両面に秀でた彼が、舞台化を熱望した小説がエドゥアール・ルイ作「暴力の歴史」だ。

極貧家庭に生まれ「男らしくない」ためにいじめられた少年時代をつづる小説『エディに別れを告げて』(2014/日本語版は東京創元社より2015年刊)で、ルイは注目を集めた。次作「暴力の歴史」ではアルジェリア系のレダにレイプされるエドゥアールを通じ、差別が人類に与える影響を問う。

「社会をゆがめる対立を描く『暴力の歴史』は、私たちが困む危機に気づかせます。エドゥアールを苛む心身の傷が、悲惨な事件の背景と結果を考えさせるからです。ある共同体の多数派の人は、同性愛者や外国人などの少数派を排除しやすい。でも、自分と異なる(他者)を疑い恐れることが、人間の尊厳を奪う例は東西の歴史に刻まれています」

たしかに偏見が起こす悲しい事件は、日本でも共有できる問題だ。

「私たちは異文化圏の出身者を受け入れ、自分と同様に複雑な文明と内面をもつ人として認めなくてはなりません。レダの荒んだ態度には、移民の息子という出自がからんでいます」

将来の可能性を閉ざされた孤独な存在に、オスターマイアーは目を向ける。

「カミュの小説『異邦人』(1942)を思い出して下さい。フランスの植民地だったアルジェリアでムルソーに殺される被害者は、(アラブ人)としか呼ばれません※2。74年後にルイが(他者)の立場のレダに、名前とアイデンティティを与えた小説は、ヨーロッパ文学が古い習慣を脱した証ともいえます」



Photo: Arno Declair ©schaubühne

俳優の力強い演技と、映像が融け合う新鮮な表現

殺されかけトラウマを負ったエドゥアールは、警察官と姉の対応に更なる衝撃を受ける。

「警官はレダの出自を蔑む。故郷では排外主義政党が勢力を伸ばし、姉は弟がゲイであることにも向き合えない。誰にも助けを期待できないエドゥアールは、傷をいやすためにトルコに赴くと人々の顔にレダの面影を見て驚えます」

ここでオスターマイアーは微笑み、「けれども苦痛だけではなく、ときめきもあふれる芝居ですよ」と説く。

「レダによる盗難に気づく前は、愛の物語でもあります。エドゥアールはレダに魅了されたから、自室に入れてしまった。コミュニケーションが成り立つ場面は美しい。心の通い合いも、エロティックな交流も陶酔を誘うでしょう」

起伏に富むドラマに新鮮な表現をもたらすのは、複数の役を兼ねる俳優の名演と大スクリーン。例えば、姉の夫役(クリストフ・ガヴェンダ)が警察官、エドゥアールの母等を演じる中、風刺的な誇張が促す笑いは、臨場感を盛り上げる映像で増幅される。

いっぽうレダ役の俳優(レナート・シュッフ)の黄色いベスト姿は、典型的な労働者のいでたち。それはフランスで多くの負傷者を出している政府への抗議活動、いわゆる「ジレ・ジョーヌ(黄色いベスト)運動」を連想させた。

「黄色いベストを着た人々のデモは本作発表後に起こった運動ですが、最近パリで私はデモ隊と警察の衝突を撮影しました」

オスターマイアーが開いたスマートホンには、「自由、博愛、平等」を象徴する三色旗を掲げるデモ隊の画像が並ぶ。

「今、自由はグローバル企業には許されても、個人にとっては幻想にすぎません。世の不公平を減らす知恵も、いろいろな環境の人と舞台を共有しつつ育てたいですね」

文: 桂真菜(舞踊・演劇評論家)

※1 イブセン作「ノラ(人形の家)」(2005年来日、世田谷パブリックシアター)と「民衆の敵」(2018年来日、静岡芸術劇場)を現代化した作品(共にシャウビューネ制作)も喝采を浴びた。
 ※2 カミュ作「異邦人」をアルジェリア人の視点から読み直す、カメル・ダウド(1970~)による小説「もうひとつの『異邦人』ムルソー再捜査」(2013)の翻訳が今年、水声社より刊行。

フランスの作家エドゥアール・ルイ(1992~)は「暴力の歴史」(2016)を、同性愛者である自身の体験を基に著した。パリに住む主人公エドゥアールは、冬の夜に移民二世の美青年レダに誘惑され、自宅に招く。親密に過ごした後、携帯が消えたことにエドゥアールが気づくと、レダは暴力をふるって去る。後日この事件を伝えたところ、警官も故郷の姉も人種差別を露わにする。エドゥアールはトラウマから逃れるため、トルコに旅立つが……。

「暴力の歴史」 詳細はHPへ

10月24日(木)~26日(土) プレイハウス
 原作: エドゥアール・ルイ 演出: トーマス・オスターマイアー

東京芸術祭2019公式サイト tokyo-festival.jp/2019



7 JUL ▶

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 |

東京芸術劇場ボックスオフィス **0570-010-296** 〔休館日を除く 10:00～19:00〕 東京芸術劇場ホームページ **www.geigeki.jp** 休館日・22日(月)・23日(火)

Concert Hall

1日(月) 19:00開演 BOX

響きあうアジア2019ガラコンサート

出演 小林研一郎 (Cond) / 瀬崎明日香 (Vn) / 響きあうアジア2019交響楽団 / 朝岡聡(司会)
曲目 ヴェルディ / 「アイダ」より「凱旋の行進曲」
 サラサーテ / ツィゴイネルワイゼン
 シベリウス / 交響詩「フィンランディア」 ほか
料金 S:3,500円 / A:2,500円 / B:1,500円 / S席ペア:6,000円 / 学生 (A席):1,000円 / ハンディキャップ割引:1,000円
問合せ 日本オーケストラ連盟 03-5610-7275

2日(火) Closed・関係者のみ

平成31年度中央区立小学校・中学校 音楽鑑賞教室

4日(木) Closed・関係者のみ

平成31年度千代田区音楽鑑賞教室

6日(土) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団 第218回土曜マチネシリーズ

出演 小林研一郎 (Cond) / アンドレアス・オッテンザマー (Cl) / 読売日本交響楽団
曲目 ウェーバー / 歌劇「魔弾の射手」序曲
 クラリネット協奏曲第1番
 ドヴォルザーク / 交響曲第8番
料金 S:7,500円 / A:5,500円 / B:4,500円 / C:4,000円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

7日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団 第218回日曜マチネシリーズ

出演 小林研一郎 (Cond) / アンドレアス・オッテンザマー (Cl) / 読売日本交響楽団
曲目 ウェーバー / 歌劇「魔弾の射手」序曲
 クラリネット協奏曲第1番
 ドヴォルザーク / 交響曲第8番
料金 S:7,500円 / A:5,500円 / B:4,500円 / C:4,000円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

Playhouse

～3日(水) BOX

響きあうアジア2019 「フィーバー・ルーム」

ディレクター アビチャップボン・ウィーラセタクン
料金 【整理番号付自由席】前売…一般:4,000円 / 25歳以下:2,500円
 当日…一般:4,500円 / 25歳以下:3,000円
 障がい者割引:各券種の10%引
 ※推奨年齢10歳以上
問合せ PARC - 国際舞台芸術交流センター 03-5724-4660

8日(月) 19:00開演

billboard classics 玉置浩二 premium symphonic concert 2019

出演 湯浅卓雄 (Cond) / 玉置浩二 (Vo) / 東京フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ
曲目 松井五郎・玉置浩二 / 悲しみにさよなら
 須藤晃・玉置浩二 / 田園
 井上陽水・玉置浩二 / 夏の終わりのハーモニー ほか
料金 【全席指定】12,000円
問合せ キョードー東京 0570-550-799

9日(火) 19:00開演 BOX

オーケストラ・アンサンブル金沢 東京特別公演

出演 マルク・ミンコフスキ (Cond) / クリストフ・コンツ (Vn) / オーケストラ・アンサンブル金沢
曲目 ベートーヴェン / ヴァイオリン協奏曲
 プラムス / セレナード第1番
料金 S:7,500円 / A:6,000円 / B:4,000円
問合せ 石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632

10日(水) 19:00開演 BOX

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

出演 エリア・フィンリヒ (Cond) / アリス＝紗良・オット (Pf) / ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団
曲目 モーツァルト / ピアノ協奏曲 第21番
 マーラー / 交響曲第5番
料金 S:16,000円 / A:14,000円 / B:11,000円 / C:8,000円 / D:6,000円
問合せ ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

11日(木) 18:30開演 BOX

東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル 第50回定期演奏会

出演 汐澤安彦、津堅直弘 (Cond) / 外園祥一郎 (Euph) / 東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル
曲目 スッペ (三戸知章編) / 喜歌劇「軽騎兵」序曲
 パンズ / 交響的序曲
 ケンツビッチ / ユーフォニアム協奏曲「皇帝」ほか
料金 【全席指定】1,500円
問合せ 東京音楽大学演奏課 03-6455-2757

12日(金) 19:00開演

billboard classics 玉置浩二 premium symphonic concert 2019

出演 湯浅卓雄 (Cond) / 玉置浩二 (Vo) / 東京フィル・ハーモニー交響楽団
曲目 松井五郎・玉置浩二 / 悲しみにさよなら
 須藤晃・玉置浩二 / 田園
 井上陽水・玉置浩二 / 夏の終わりのハーモニー ほか
料金 【全席指定】12,000円
問合せ キョードー東京 0570-550-799

13日(土) 13:30開演 BOX

久保田孝 寿寿記念コンサート

出演 久保田孝 (Cond) / 久保田孝寿寿記念マンドリンオーケストラ
曲目 舞踊風組曲第1番～第4番
 交響曲第7番「未完成」
 幻想序曲「ロメオとジュリエット」 ほか
料金 【全席指定】一般:2,000円 / 学生:1,500円
問合せ 久保田孝寿寿記念コンサート実行委員会 042-422-6368

14日(日) 16:00開演 BOX

仲道郁代 ピアノ・フェスティヴァル Vol.2

15:15 6人のピアニストクロストーク
出演 仲道郁代、横山幸雄、菊池洋子、實川風、松田華音、藤田真央 (Pf)
曲目 モーツァルト / 2台のピアノのためのソナタ 二長調
 ドビュッシー / ベルガマスク組曲より「月の光」
 サン＝サーンス / 動物の謝肉祭「白鳥」
 シャブリエ / 「エスパーニヤ」
 ポロティン / 「イーゴリ公」よりダッタン人の踊り
 J.シュトラウスⅡ / 美しく青きドナウ
 モーツァルト / トルコ行進曲
 横山幸雄 / カルメンの誘惑と幻想～5台のピアノのための
 リムスキー＝コルサコフ / 熊蜂の飛行
 サン＝サーンス / 死の舞踏
 ホルスト / ジュピター (組曲「惑星」より)
料金 S:7,000円 / A:6,000円 / B:5,000円
問合せ ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット

取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)……
 ・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
 ・最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
 ・原則未就学児のご入場はお断りしています。
 ・年齢割引チケットは要証明書。
 ・*は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い。

15日(月・祝) 14:00開演 BOX

新交響楽団第246回演奏会

出演 矢崎彦太郎 (Cond) / 新交響楽団
曲目 ベリリオース / 劇的交響曲「ロメオとジュリエット」より
 プロコフィエフ / 組曲「ロメオとジュリエット」より
 パンスタイン / 「ウエストサイドストーリー」よりシンフォニックダンス
料金 S:3,000円 / A:2,500円 / B:1,500円
問合せ コンサートイマジシ 03-3235-3777

17日(水) 11:00開演 BOX

-芸劇ランチコンサート- 名曲リサイタル・サロン

第2回「萩原麻未 ピアノ・リサイタル」

出演 萩原麻未 (Pf) / 八塩圭子 (ナビゲーター)
曲目 ショパン / ワルツより 第1番「華麗なる大円舞曲」、
 第9番「別れのワルツ」、第6番「子犬のワルツ」
 モンボウ / 「歌と踊り」より
 ラヴェル / ラ・ヴァルス ほか
料金 【全席指定】2,400円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

18日(木) 12:15開演 BOX

ランチタイム・パイプオルガンコンサート Vol.133

出演 小野なおみ (Org)
料金 【全席自由】500円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

略語表
 アルト(A) / ベース(B) / バリトン(Br) / バス(Bs) / コントラバス(Cb) / チェンバロ(Cemb) / 合唱(Chor) / クラリネット(Cl) / 指揮者(Cond) / ユーフォニアム(Euph) / ファゴット(Fg) / フルート(Fl) / ギター(Gt) / ハープ(Hp) / ホルン(Hr) / 司会(MC) / メソソプラノ(Ms) / オーボエ(Ob) / パイプオルガン(Org) / パーカッション(Per) / ピアノ(Pf) / ソプラノ(S) / サクソフォーン(Sax) / テノール(T) / トロンボーン(Tb) / ティンパニ(Timp) / トランペット(Tp) / チューバ(Tub) / ヴィオラ(Va) / チェロ(Vc) / ヴァイオリン(Vn)

19日(金) 19:00開演

billboard classics 玉置浩二 premium symphonic concert 2019

出演 デヴィッド・ガルフォース (Cond) / 玉置浩二 (Vo) / ロシア国立交響楽団
曲目 松井五郎・玉置浩二 / 悲しみにさよなら
 須藤晃・玉置浩二 / 田園
 井上陽水・玉置浩二 / 夏の終わりのハーモニー ほか
料金 【全席指定】16,000円
問合せ キョードー東京 0570-550-799

20日(土) 18:00開演

東京ニューシティ管弦楽団第3回ポップス定期演奏会

出演 大崎慶子 (Cond) / Plastic Tree / 東京ニューシティ管弦楽団
曲目 灯火
 インサイドアウト
 時間坂 ほか
料金 【全席指定】8,500円
問合せ レキップトロワ 03-3470-0330

21日(日) 14:00開演 BOX

「ドラゴンクエスト」ウインドオーケストラコンサート

出演 大井剛史 (Cond) / 東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 ドラゴンクエストⅣ、Ⅴ、Ⅵより
料金 S:4,500円 / A:3,500円
問合せ キョードー東京 0570-550-799

24日(水) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団第882回定期演奏会

出演 アラン・ギルバート (Cond) / 東京都交響楽団
曲目 モーツァルト / 交響曲第38番「プラハ」
 ブルックナー / 交響曲第4番(ロマンティック)
 (ノヴァーク:1878/80年版)
料金 S:7,500円 / A:6,500円 / B:5,500円 / C:4,500円 / Ex:3,500円
問合せ 都響ガイド 0570-056-057

25日(木) 18:30開演

NIPPON SYMPHONY CONCERT Vol.27 Summer Festival

～壮麗にしてロマンティシズム溢れる 大いなる協奏と交響の世界～

出演 新田孝 (Cond) / 小池美奈、秋川風雅、田中照子、安達の子 (Pf) / 池田宏里 (Gt) / NIPPON SYMPHONY
曲目 シューマン / ピアノ協奏曲
 チャイコフスキー / ピアノ協奏曲第1番
 プーランク / ピアノ協奏曲 ほか
料金 S:8,000円 / A:7,000円 / B:6,000円
問合せ NIPPON SYMPHONY 090-5498-8573 / T&N企画 03-4477-5654

26日(金)19:00開演・27日(土)13:00開演 / 17:00開演 BOX

ミュージカル・ミーツ・シンフォニー アナザーステージ ザ・グレイテスト・ヒッツ・フロム・アバ

出演 円光寺雅彦 (Cond) / ビーター・ジョー・バック、グニラ・バックマン、サラ・オレイン、海宝直人 (Vo) / 読売日本交響楽団
曲目 マンマ・ミーア
 ダンシング・クイーン
 SOS ほか
料金 S:9,800円 / A:8,800円
問合せ 読売新聞東京本社事業開発部 03-3216-8606

28日(日) 11:00開演 / 14:00開演 BOX

第45回日本フィル夏休みコンサート2019

出演 永峰大輔 (Cond) / 江原陽子 (MC/Vo) / スターダンサーズ・バレエ団 / 日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 チャイコフスキー / バレエ(眠りの森の美女)よりワルツ
 J.シュトラウスⅡ / 雷鳴と電光、エジプト行進曲
 プロコフィエフ / バレエ(シンドセラ) ほか
料金 大人…S:5,200円 / A:4,200円 / B:3,200円
 子供…S:3,200円 / A:2,500円 / B:1,800円
問合せ 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

Theatre East

～7日(日) BOX

響きあうアジア2019 「プラータナー:憑依のポートレート」

原作 ウティット・ヘーマムーン **脚本・演出** 岡田利規 **セクダフィー・監修** 塚原悠也
料金 【全席指定】前売:4,000円 / 当日:4,500円 / 29歳以下:2,500円 / 学生:1,500円 / 障がい者:1,500円 ほか
問合せ precog 03-6825-1223

10日(水)～17日(水) BOX

劇団青年座 「明日ー1945年8月8日ー長崎」

原作 井上光晴 **脚色** 小松幹生 **演出** 鈴木完一郎 **演出助** 山本龍二
出演 山本与志恵 / 津田真澄 / 山賀教弘 / 五十嵐明 / 佐野美幸 ほか
料金 【全席指定】一般:5,000円 / 25歳以下:3,500円 / 18歳以下:2,000円 / 当日:5,500円
問合せ 劇団青年座 03-5478-8571

20日(土)・21日(日) BOX

芸劇ダンスワークショップ発表会 「東京ディグ/ライズ」

講師 北尾巨 (Baobab)
料金 【全席自由】一般:2,000円 / U-25:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

26日(金)～28日(日) BOX

芸劇dance イデビアン・クルー「幻想振動」

演出・振付 井手茂太 **出演** 斉藤美音子 井手茂太
料金 一般前売:4,500円 / 当日:5,000円 / 25歳以下:3,000円 / 65歳以上:3,500円 / 高校生以下:1,000円 / 未就学児(★の回のみ):1,000円
問合せ days 03-3464-5026

30日(火)・31日(水) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2019

～7日(日) BOX

文学座公演 「ガラスの動物園」

作 テネシー・ウィリアムズ
訳 小田島恒志
演出 高橋正徳
出演 塩田朋子 / 永宝千晶 / 亀田佳明 / 池田倫太郎
料金 【全席指定】一般:6,000円 / 夜割(7/1):4,000円 / ユースチケット:3,800円
問合せ 文学座企画事業部 03-3351-7265

12日(金)～14日(日) BOX

響きあうアジア 2019 DANCE DANCE ASIA-Crossing the Movements 東京公演 2019

① **振付・演出** 3T (ベトナム) **振付・演出協力** KATSUYA (日本) ④ **振付・演出** GANMI (日本)
 ② **振付・演出** Nikii (タイ) **振付・演出協力** スズキ拓朗 (日本) ⑤ **振付・演出** kEnkEn (日本)
 ③ **振付・演出** Crazy Rollers (日本)
料金 【全席指定】一般:3,500円 / 学生:2,500円 / 障がい者手帳割引:2,000円
 ※ご同伴のお子様割引販売(子ども券 2,000円/3歳以上小学生まで)
 ※年齢制限:7月12日(金)…3歳未満入場不可
 7月13日(土)・14日(日)計3公演…3歳未満入場可(膝上鑑賞無料、但し座席が必要な場合は子ども券をご購入ください。)
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

17日(水) 19:00開演 BOX

日中韓による伝統音楽の調べ

出演 榎戸二幸(箏) / 毛Y(中国古箏) / 金オル(カヤグム)
料金 【全席自由】一般:3,000円 / 学生:1,000円
問合せ 幸の會 03-3530-0973

20日(土)～28日(日) BOX

「A列車に乗っていこう」

作 北村想 **演出** 日澤雄介
出演 石田ひかり / 松風理咲
料金 【全席指定】前売一般:4,500円 / 当日一般:5,000円 / U-25 (25歳以下):2,500円 / シニア (60歳以上):4,000円
 ※U-25、シニア券はトム・プロジェクトのみで販売。要証明書。
問合せ トム・プロジェクト 03-5371-1153

30日(火)・31日(水) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2019

7.8.9 JUL AUG SEP

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

Gallery 1 (5F)

| | | | | |
|--|--|---|---|--|
| 3日(水) 響きあうアジア2019 「映画分野における日本と 東南アジアの国際展開を考える」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025 | 4日(木) 響きあうアジア2019 「舞台芸術における 国際協働をめぐって」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025 | 5日(金) 響きあうアジア2019 「アジアにおける ソーシャル・イノベーション」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025 | 6日(土) 響きあうアジア2019 「三陸国際芸術祭」の 歩みと未来」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025 | 7日(日) 響きあうアジア2019 「日本語パートナーズ」 経験者と話す会」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025 |
| 7 10日(水)~15日(月・祝) 響きあうアジア2019 「呼吸する地図たち」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025 | 16日(火)~21日(日) 第25回新和様・漢字造型書 作家協会選抜展 問合せ 石橋 03-3234-3956 | 27日(土)~8月1日(木) 第42回東京都高等学校文化祭 写真部門A地区大会・B地区大会 問合せ 都立南葛飾高校 金澤 03-3691-8476 | | |
| 8 3日(土)~6日(火) 第三十回記念泰永書展 -日頃修好150周年国際交流芸術展- 問合せ 泰永会事務局 03-3332-3701 | 8日(木)~17日(土) Gallery 1・2同時開催 傅益瑤が描く日本の祭絵展 問合せ 村田 090-3341-7577 | 21日(水)~28日(水) 第34回日本の海洋画展 問合せ 全日本海員福祉センター 03-3475-5391 | 30日(金)~9月1日(日) Gallery 1・2同時開催 「第30回記念日中友好 自詠詩書交流展東京展」 問合せ 中村 03-3837-4445 | |
| 9 4日(水)~8日(日) 第16回《書統》全国展 問合せ 萱原 03-3462-5251 | 14日(土)~16日(月・祝) Gallery 1・2同時開催 サラダ音楽祭 問合せ サラダ音楽祭事務局 03-3663-6307 | 18日(水)~23日(月・祝) 2019 全日本山岳写真展 問合せ 村田 090-8642-8808 | 28日(土) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 ボンクリ・フェス2019 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 | 29日(日)~10月2日(水) 秋の日本水墨画展 問合せ 竹中 048-474-2239 |

Gallery 2 (5F)

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| 7 19日(金)~21日(日) 舞台美術-鳥次郎回顧展 問合せ 堀尾 04-2945-4546 | 8 8日(木)~17日(土) Gallery 1・2同時開催 傅益瑤が描く日本の祭絵展 問合せ 村田 090-3341-7577 | 21日(水)~27日(火) 第28回 筆之友書展 問合せ 書道奨励協会 049-244-2222 | 30日(金)~9月1日(日) Gallery 1・2同時開催 「第30回記念日中友好 自詠詩書交流展東京展」 問合せ 中村 03-3837-4445 | |
| 9 4日(水)~8日(日) 中国書法名家・曾来徳作品展 問合せ 萱原 03-3462-5251 | 14日(土)~16日(月・祝) Gallery 1・2同時開催 サラダ音楽祭 問合せ サラダ音楽祭事務局 03-3663-6307 | 18日(水)~23日(月・祝) 「創形美術学校50周年版画展」 問合せ 創形美術学校事務局 03-3986-1981 | 28日(土) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 ボンクリ・フェス2019 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 | 29日(日)~10月2日(水) 第10回ART CONFUSE展 問合せ 日本美術会 03-5842-5665 |

Atelier East (B1F)

| | | | | |
|--|--|---|---|--|
| 7 2日(火)~15日(月・祝) 響きあうアジア2019「災害とデザイン」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025 | 16日(火)~21日(日) ホームシックギャラリー-倶楽部 「いごこちの居場所」展 問合せ 三須 090-2631-0502 | 24日(水)~28日(日) 豊島フォトクラブ第17回作品展 問合せ 森岡 090-3081-0913/ 03-3917-7726 | | |
| 8 2日(金)~4日(日) 「ざくら会」積種俳画展 問合せ 井原 045-981-6407 | 13日(火)~18日(日) 中津川ヒロ子個展 屋久島花筐 問合せ 中津川 0422-47-2724/ 090-7220-4550 | 22日(木)~25日(日) 写真展第13回「向かい風」 問合せ 古賀 080-4147-9091 | 26日(月)~9月1日(日) 2019年第27回 フォトクラブグランプリ写真展 問合せ 館野 090-2740-6443 | |
| 9 4日(水)~8日(日) ボタニカルアッサンプラージュ 問合せ 吉本 090-2256-1606 | 9日(月)~16日(月・祝) 第13回 三軌会写真部東京多摩支部展 問合せ 草川 03-6767-5113/ 090-2549-6560 | 17日(火)~23日(月・祝) 第12回 東風会 作陶展 問合せ 石井 03-3869-7173 | 28日(土) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 ボンクリ・フェス2019 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 | 29日(日)~10月2日(水) 一会展 ~花笑みの書~ 問合せ 酒井 090-2219-5736 |

Atelier West (B1F)

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| 7 2日(火)~15日(月・祝) 響きあうアジア2019 「展示で巡る「日本語パートナーズ」の5年」 問合せ 国際交流基金アジアセンター 03-5369-6025 | 16日(火)~21日(日) 青樞選抜2019 Summer 問合せ 米谷 047-391-0136/ 090-8566-7138 | 24日(水)~28日(日) 第48回 くれよん展 問合せ 河瀬 080-5038-9293/ 03-3911-9293 | | |
| 8 2日(金)~4日(日) フルーツ・ソーパクーピング作品展 ~カーピング教室HORAI-カーピング種~ 問合せ カーピング教室HORAI 原 090-8117-4270 | 14日(水)~18日(日) グループ恵展 43回展 問合せ 大野 046-276-7376 | 21日(水)~25日(日) サロンDEポンドール会員展 問合せ 浜崎 03-5932-1518/ 090-3920-4298 | 27日(火)~9月1日(日) 第8回キヤノンフォトクラブ 東京DEMI写真展 問合せ 石川 090-4669-1131 | |
| 9 3日(火)~8日(日) 火洋会 問合せ 火洋会 天辻 042-421-2951 | 10日(火)~16日(月・祝) 幸田奈々世 写真展 「繰り返し、繰り返す」 問合せ 幸田 090-8762-0531 | 19日(木)~23日(月・祝) 写談撮んぼ 第14回写真展 問合せ 古谷 03-3487-3435/ 090-9019-5772 | 28日(土) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 ボンクリ・フェス2019 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 | 29日(日)~10月2日(水) シルクロードからのきもの展示 大野信幸 問合せ 大野 090-3353-9858 |

劇場ツアー「東京芸術劇場のトリセツ」

7月7日(日)・8月23日(金)・25日(日) コンサートホール ほか

詳細はHPへ



初めての方から楽しめる劇場ツアー

さまざまなホールを持つ東京芸術劇場の魅力を体験する、「東京芸術劇場のトリセツ」ツアーを実施いたします。ホールのエピソードのご紹介やアート広場の探索、そして普段は入ることのできない開演直前のコンサートホールも体験していただけます!劇場スタッフだけが知っている裏話や、幻のカフェのドリンク紹介など、知っているようで知らない劇場の楽しみ方をたくさん発見できるトリセツツアーにぜひご参加ください。本ツアーは、人材育成プログラムの一環である「シアター・コーディネーター養成講座<劇場ツアー編>」で学びを深めた受講生が劇場と社会の間に立ち、両者をつなぐために企画として考え、実施します。講座を通して劇場という空間やその歴史、特色について学んだ受講生が作成し、工夫を凝らしたガイドツアーをお楽しみください。

第1回 7月 7日(日) 10:00~11:15 第2回 8月23日(金) 16:00~17:15
第3回 8月25日(日) 10:00~11:15

【料金】各回500円(保険代込み) 【定員】各回20名
【お問合せ】東京芸術劇場 教育普及担当 03-5391-2116

演劇系大学共同制作 Vol.7 ミュージカル「ファザーファッカー」

9月6日(金)~8日(日) シアターイースト

詳細はP17へ



「うちのされとること まともて思えんばい」

世界的に広がった#MeToo運動も日本では対岸の火事の扱い。父親から娘への性暴力をめぐる裁判で無罪判決がでるなど、家庭内の性的虐待が改めて社会問題として問われるなか、ミュージカル「ファザーファッカー」が、2019年9月、東京芸術劇場シアターイーストの舞台上に登場します。「ファザーファッカー」は漫画家・小説家内田春菊が1993年に発表し、センセーションを巻き起こした自伝的小説です。今回、その義父による性的虐待というショッキングな物語を、内田春菊自ら脚本化。ペーター・グスナーの演出により、東京の演劇系大学のネットワーク「東京演劇大学連盟」に参加する5大学(桜美林大学、玉川大学、多摩美術大学、日本大学、桐朋学園芸術短期大学)からオーディションで選ばれた現役の学生たちが、虐待に打ちひしがれながらも、たくましく生きていく少女の物語をミュージカルとして織りなしていきます。

原作・台本:内田春菊 演出:ペーター・グスナー(桐朋学園芸術短期大学教授) 音楽:佐東賢一
音楽監督・ピアノ演奏:高島愛 歌唱指導:信太美奈(桐朋学園芸術短期大学特任教授) 振付:宮河愛一郎
美術:牧野紗也子 石原敬 照明:兼子慎平 衣裳:吉原顕乃
【料金】一般:2,500円/大学生:1,500円/高校生以下:500円
【お問合せ】桐朋学園芸術短期大学 090-1415-8938 endairen@toho.ac.jp

集まれ! 池袋みんなの大道芸

9月~11月 劇場前広場

詳細はHPへ



ゴールデンウィークに賑わいをみせた「集まれ! 池袋みんなの大道芸」が引き続き9月より開催。アクトバットパフォーマンス、パントマイム、マジック等、また、滅多に見られない海外からのスペシャルゲストも出演予定です!ポールやディアポロなどの技にチャレンジできる「チャレンジ広場」も同時開催。

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

芸劇+まちがく(東京芸術劇場+都市文化公開フォーラム)

9月・12月・2020年3月 アル・テアトロ(2階)



アートが持つポテンシャルを活用した街づくりのパイオニアである北川フラム氏をモデレーターに迎え、アート、文学、演劇、音楽、建築等を切り口に、各回テーマに即したゲストを招き実施しているフォーラム「芸劇+まちがく」。参加者の皆様と一緒に、これからの文化と街づくりについて考えていきます。

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116



演奏と結びついて進化する コンサートホールの音響

舞台芸術分野の人材育成を行う東京芸術劇場の「アーツアカデミー」が、音響設計家の豊田泰久氏を迎えてコンサートホールの音響をテーマに公開ゼミを開催した。

ゼミは「東京芸術劇場のコンサートホールについて」と題し、ホールの特性や音響と演奏との結びつきなどをトピックスに展開された(5月2日)。

まず、東京芸術劇場の鈴木順子事業企画課長からコンサートホールの歴史について概説。大別すると、シューボックス(直方体)型とヴィンヤード(舞台を客席が段々と囲む)型に分かれ、歴史的なホールは前者だが、ベルリンのフィルハーモニー以降、後者が多くつくられてきたことを紹介した。

続いて豊田氏より「コンサートホールは多目的ホールと異なって生の響きを届けることを前提としており、音響の良し悪しはホールの形と材料で決まる。天井の高さ、壁の位置や角度など重要な要素はいくつもあるが、一旦つくったら変えられない点が難しい」と講義開始。ウィーンの楽友協会ホールを例に、シューボックス型で横幅が狭く反射音がまんべんなく得られることで良い音響になっていること、現在の建築基準などの法規制に照らすと同じ面積では客席数の少ないホールしか建築できず、今は同じホールを建設できないことなどが紹介された。さらに、コンピュータの発展がコンサートホールの設計



東京芸術劇場 プロフェッショナル人材養成研修 公開ゼミ
劇場を考えるシリーズ<東京芸術劇場編>
第2回 5月2日(木・休)「東京芸術劇場のコンサートホールについて」
講師：(写真左より)豊田泰久(音響設計家)
鈴木順子(東京芸術劇場 事業企画課長)

にもたらした変化、他方でコンピュータではわからない部分に対処するため、10分の1の模型を使って実験を行っていること、また近年、新しい時代のコンサートの楽しみ方の提示という観点からコミュニケーションを重視

し、観客どうしの顔が見えるという利点からヴィンヤード型を選ぶクライアントが多いことなどに話が展開していった。

後半は、1990年にヴィンヤード型のホールとして誕生した東京芸術劇場が、2011年から1年半にわたって行った改修工事を経てどう進化したのか、鈴木課長より具体的に説明。当初からオーケストラの曲がよい環境で聴けると評価されてきたホールだったが、改修はより創造発信型の劇場にするという劇場のあり方を柱に、容積が大きくマラーや合唱が入る大編成の作品が多く演奏されてきたことやオルガンなどの特徴をふまえ、それらにより適した音響にする目的で実施された。主な改修点は、舞台の床を低音の響きがさらに伝わるようナラ材からヒノキ材に張り替えたこと。音をより拡散させて響きを複雑にするため、ホール側壁の大理石に木製のリブ材を取り付けたこと。舞台奥が合唱を入れると狭かったため、舞台を前に90センチ張り出して広くしたことなど。天井の音響反射板もオーケストラ、オルガンそれぞれに適した角度などを研究して音響条件を整備した。また、以前より事業提携を結んでいる読売日本交響楽団が前日のリハーサルでもできるだけホールを使えるように努力していること、さらに東京都交響楽団など定期公演に使う楽団が4つに増えたことで、ホールのよい響きを掴んでよい演奏を届けるといったことが毎日に行われるようになった結果、ハーディング、ノット、ヤンソンら世界的なマエストロをはじめ、音響への高い評価が得られるように変化したことが紹介された。

最後の質疑応答では、ホールの形と材料を決めるにあたっての建築家の姿勢の違いやホールの材質と音楽家のメンタル面の関係など興味深い話題が続いた。

文：潮博恵(音楽ジャーナリスト)

10% OFF

東京芸術劇場チケット(または半券)のご提示で
レストラン&バーの飲食代より10%割引いたします。

ダイニング&バー「オーヴェスト」

地上100mからの夜景をバックに多彩なカクテルと
オリジナリティあふれる料理をお楽しみください。

【月～金】 11:30a.m.～3:00p.m.(L.O.2:30p.m.)
5:30p.m.～12:00midnight(L.O.11:30p.m.)
※月～木:ディナーコースL.O.9:00p.m.
※金:ディナーコースL.O.9:30p.m.
【土】 11:30a.m.～12:00midnight(L.O.11:30p.m.)
※ディナーコースL.O.9:30p.m.
【日・祝】 11:30a.m.～11:00p.m.(L.O.10:30p.m.)
※ディナーコースL.O.9:00p.m.

※割引きの有効期限はチケット購入日から公演当日までとなっております。
※必ず会計時にチケットをご提示ください。
※会計終了後の割引きはお受けできませんので予めご了承ください。
※他の割引き・優待との併用は不可。
※営業時間はイベントや連休等により変更となる場合がございます。

ご予約・お問い合わせ
03-3980-1111(代表)

HOTEL METROPOLITAN TOKYO IKEBUKURO JR-EAST

25F

キュイジーヌ「エスト」

11:30a.m.～3:00p.m.(L.O.2:30p.m.)
【月～木・日・祝】
5:30p.m.～9:30p.m.(L.O.9:00p.m.)
【金・土】
5:30p.m.～10:00p.m.(L.O.9:30p.m.)

2F

中国料理「桂林」

11:30a.m.～3:00p.m.(L.O.2:30p.m.)
【月～木・日・祝】
5:30p.m.～9:30p.m.(L.O.9:00p.m.)
【金・土】
5:30p.m.～10:00p.m.(L.O.9:30p.m.)

2F

日本料理「花むさし」

11:30a.m.～3:00p.m.(L.O.2:30p.m.)
【月～木・日・祝】
5:30p.m.～9:30p.m.(L.O.9:00p.m.)
【金・土】
5:30p.m.～10:00p.m.(L.O.9:30p.m.)

2F

日本料理「花むさし 旬香」

11:30a.m.～3:00p.m.(L.O.2:30p.m.)
【月～木・日・祝】
5:30p.m.～9:30p.m.(L.O.9:00p.m.)
【金・土】
5:30p.m.～10:00p.m.(L.O.9:30p.m.)

2F

バー「オリエントエクスプレス」

【月～土】
5:00p.m.～12:00midnight(L.O.11:30p.m.)
【日・祝】
5:00p.m.～11:00p.m.(L.O.10:30p.m.)

1F

オールデイダイニング「クロスデザイン」

【月～木・日・祝】
6:30a.m.～10:30p.m.(L.O.10:00p.m.)
【金・土】
6:30a.m.～11:00p.m.(L.O.10:30p.m.)

M2F

メザニンラウンジ「すずかけ」

10:00a.m.～8:00p.m.(L.O.7:45p.m.)

楽もつともう！
芸劇を施す劇場

1F

シアターアートショップ
(グッズショップ)

芸劇ならではのアイテムを取り
揃えております。
TEL.03-5950-3655
11:00～21:00

1F

吾ん田
(おにぎり)

こだわりの素材、おいしさが自
慢のおにぎり専門店です。
TEL.03-5928-0813
10:00～19:30

1F

峰屋
(パン)

天然酵母、酒種を使ったパンを
販売しています。
10:00～19:00

1F

ベル・オーブ
(ベルギービールカフェ)

ベルギー郷土料理と多彩なベル
ギービールが楽しめます。
TEL.03-3987-7895
11:30～23:00(L.O.22:00)

1F

ミュージックスタジオ
「フォルテ」(貸スタジオ)

全室にピアノがある音楽練習ス
タジオです。
TEL.03-5391-0761
9:00～22:00

2F

アル テアトロ
(イタリアンレストラン)

本格的なイタリア料理を楽しめ
るお店です。
TEL.03-3984-2221
11:00～23:00(L.O.21:30)

2F

Bicerin Metropolitan
Theatre(カフェ)

1763年創業のイタリア・トリノ最古
の老舗カフェ。著名人が愛した幻の
チョコレートドリンク「ビチェリン」
を是非お楽しみください。
TEL.03-3981-0808
11:00～20:00

INFORMATION

第17回 東京フラフェスタin池袋2019

7月19日(金)・20日(土)・21日(日) 池袋駅西口駅前広場・東武百貨店8階屋上 ほか

にゅ～盆踊り

8月12日(月・休) 東池袋中央公園

鑑賞サポート | 目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス(対象日限定・無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

7～9月
対象公演
東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.133、134
東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.28
お気に召すまま

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

東京芸術劇場 東京都豊島区西池袋 1-8-1 TEL.03-5391-2111 www.geikei.jp

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre